

# うきさん 4月

2016年 4月

棕本673 存仁寺



「和訳正信偈」

うきさん  
4月  
2016年  
棕本673 存仁寺

難けれど  
陸路のあゆみ  
船路の旅の  
易きかな

— 残 春 —

記憶つていつごろまでさかのぼれることができるので  
ろう。まだハイハイしていた頃の写真を見ながらまつたく  
覚えていないといったことがある。こんな時があつたのだ  
なんてまるで他人事のようである。以前、ご縁があつて若  
狭のお寺に寄せて頂いた。雑談の中で、「サクラサク」と  
いう映画の話が出た。さだまさしさんの小説『解夏』の中  
の短編にあつたものが映画化され、そのラストのシーンが  
そう遠くないところで撮影されたそうだ。翌日次の会所に  
行く道すがら立ち寄つてみた。「サクラサク」の元となつ  
た話は、さださんのお父さん雅人さんが一歳か三歳の頃に  
両親と中国から引き揚げ、敦賀の辺りの寺に住んでいたこ  
とがあるという。海の近く山車倉があり、白い家に三人で  
住んだわざかな時間の安らぎだつたという記憶をたどつ  
て数か所探し回つたが見つからず、三方五湖から少し行つ  
た和田海岸という地名に聞き覚えがあると言われ訪れる  
と「あつ、ここだここだ」と橋を渡つた頃から記憶がよみ  
がえつたそうである。瑞林寺というお寺の白い塀の前の小  
さな家が仮住まいであつて、白い家でなく白塀の差異はあ  
つたようだが親子三人水入らずの安らいだ空間であつた  
そうだ。六月のウイークデイにもかかわらず「こちらは、  
ロケのあつたお寺ですか」と訪ねる観光客の姿に混じり、  
参拝と案内を受けた。方丈さん(ご住職)とお話をさせて頂  
く中で、「人は一生で心のふるさと持つてゐる。幼い時の  
家族との団らんや、大人になつて家庭を築く中での団らん  
など、その人、個々にふるさとが生きてはたらいでいる。

狭のお寺に寄せて頂いた。雑談の中で、「サクラサク」と  
いう映画の話が出た。さだまさしさんの小説『解夏』の中  
の短編にあつたものが映画化され、そのラストのシーンが  
そう遠くないところで撮影されたそうだ。翌日次の会所に  
行く道すがら立ち寄つてみた。「サクラサク」の元となつ  
た話は、さださんのお父さん雅人さんが一歳か三歳の頃に  
両親と中国から引き揚げ、敦賀の辺りの寺に住んでいたこ  
とがあるという。海の近く山車倉があり、白い家に三人で  
住んだわざかな時間の安らぎだつたという記憶をたどつ  
て数か所探し回つたが見つからず、三方五湖から少し行つ  
た和田海岸という地名に聞き覚えがあると言われ訪れる  
と「あつ、ここだここだ」と橋を渡つた頃から記憶がよみ  
がえつたそうである。瑞林寺というお寺の白い塀の前の小  
さな家が仮住まいであつて、白い家でなく白塀の差異はあ  
つたようだが親子三人水入らずの安らいだ空間であつた  
そうだ。六月のウイークデイにもかかわらず「こちらは、  
ロケのあつたお寺ですか」と訪ねる観光客の姿に混じり、  
参拝と案内を受けた。方丈さん(ご住職)とお話をさせて頂  
く中で、「人は一生で心のふるさと持つてゐる。幼い時の  
家族との団らんや、大人になつて家庭を築く中での団らん  
など、その人、個々にふるさとが生きてはたらいでいる。

そして、どこかで生きる根となり支えになつてゐるのだ  
ろう」と味わいました。方丈さん曰く「私も今の家族とい  
ふことがある」とあります。私も今の家族といふことがあ  
ることがあることですし、もう一つは生まれ育つた三重県  
です」と話されたことでした。

『若さを嗤わず老いを恨まず いつか来た道何時か行く道  
いのちを恥じず いのちに怯えず 長い長い坂を黙して  
一人行く こころに咲く花は 季節を選ばない 与えられし  
いのち かなしきもまたよろし 季節に咲く花は 時を疑  
わない 与えられしいのち 楽しきもまたよろし』

(さだまさしさん『残春』)より

## 「陸路のあゆみ 難けれど 船路の旅の 易きかな」

今月のことばは龍樹菩薩の著書からいただきます。陸路とは、自  
らの努力や経験や知識を頼りに生きることであり、船路とは、握  
しめたそれらを手放して阿弥陀さまのひかりに身を委ねることで  
しょう。龍樹菩薩の著書『大智度論』には、「ある先生が指を立て  
て「この指の先に月がある。月を見よ」と教えたところ、迷つてい  
るものは指先ばかりを見て月を見ることはなかつた」というもの  
で、物事に相対した時などに、言葉や思い込みにとらわれると、そ  
の本質を見失つてしまふことを指摘したものです。同じ言葉でも文  
脈により違う意味を持つこともあります。指先に集中してそれに囚  
われてしまうのは、陸路を行く姿そのものです。指の先に広がるの  
は、船路を行く」と多くの私たちまるごとのすくいです。私たちはつ  
い船の上に乗つてしまえ、あくせくと足踏みをしてしまいます。そん  
な滑稽な私たちを、阿弥陀さまはそのままお淨土への旅に誘つてくれ  
ださいます。

## 4月の行事

- 1日(金) 6時30分 おあさじ  
東海教区少年連盟本山参拝
- 6日(水) 19時30分 コーラス
- 10日(日) 鈴鹿組はなまつり  
9時30分 存仁寺にて
- 10日(日) 13時30分  
無量寿会花まつり・総会
- 16日(土) 6時30分 おあさじ
- 22日(金) 春季永代経法要
- 23日(土) 春季永代経法要



### 17時より世話方会

## 教区・鈴鹿組関連 4月、5月

- 7日(水) 鈴鹿組委員会 19時 常信寺
- 16日(土) 鈴鹿組佛教壯年会総会  
9時 西正寺
- 17日(日) 鈴鹿組運営委員会  
13時30分 芸濃庁舎
- 18日(月) 東海教区佛教壯年会理事会 14時
- 25日(月) 東海教区佛教婦人会理事会  
13時30分 名古屋別院
- 鈴鹿組佛教婦人会役員会  
19時 存仁寺
- 26日(火) 東海教区子ども若者ご縁づくり  
13時30分 名古屋別院
- 28日(木) 東海教区門徒推進員役員会  
10時 名古屋別院
- 5月5日(木) 鈴鹿組組会 9時 芸濃庁舎
- 7日(土) 鈴鹿組佛教婦人会班長会議



3月11日 14時46分 東日本大震災から5年  
追悼と復興、安穏を願って鐘を撞きました。



## 5月の行事

- 1日(日) 6時30分 おあさじ
- 5日(木) 13時30分 コーラス
- 8日(日) 19時30分  
佛教婦人会班長会
- 12日(木) 13時30分 無量寿会例会
- 15日(日) 19時 佛教壯年会総会
- 16日(月) 6時30分 おあさじ
- 22日(日) 子ども会
- 28日(土) 8時 マキ刈り出合い



## 鈴鹿組佛教婦人会総会

研修会が3月20日(日)



光明寺さんにて開催され

事業報告、会計報告が

承認。次年度より2年間芸濃の谷に廻ってきました。会長は存仁寺丸橋美優喜さん、



副会長西方寺佐野順子さん、  
常任理事養宗寺杉谷みち子  
さん、会計西方寺横山則子  
さんにお世話になります。

佛教壯年会例会 3月12日(土)例会がもたれ、今年度の反省と次年度への展望など話し合われました。初めて、ご本山御正忌に参拝出来た事、行事を通じてお互いの仲間の輪が深まったこと、会員さんにも多数参加をして頂きたい事などがあげられました。

西正寺さんより、鈴鹿組念佛奉仕団募集です。

平成28年6月23日～24日 参加費 18000円

宿泊 アランヴェールホテル京都

息子さんが住む千葉県に移られた横山さん。

毎年ご縁でお邪魔させていただいている隣市のお寺にそろってお参り、

ご聴聞下さいました。

その後、御家でのお参りをさせていただきました。また、お墓参りに帰郷ください。

